

社協だより

ONAGAWA



桜の花を見ながら

長引くコロナ禍で、うみねこ園ではしばらく園外での活動を控えていたのですが、約4年ぶりとなるお花見にいつてきました。桜は既に散り満開とはいきませんでした。わずかに残る桜を見ながら、春の陽気に包まれたひと時でした。（詳細は6ページに掲載）

6

JUNE.2023



この広報誌の発行には、皆さまから頂戴した会費と共同募金からの配分金を使わせていただいております。

一般予算のあらまし

《基本方針》

本会が令和2年3月に策定した「第5次女川町地域福祉活動計画」は、女川町が策定した「女川町地域福祉計画」と一体的に推進していくために、「地域の支えあいとつながりで一人ひとりの幸せが実現するまち おながわ」を共通の基本理念としております。

時代の流れとともに、私たちが暮らす社会では物質的な豊かさや利便性を享受できるようになったものの、一方ではストレス社会や無縁社会とも言われ、社会的に孤立した個人や世帯の抱える問題は多岐にわたる現状となっています。

このような多様化・複雑化した地域生活課題の解決に向けて第5次女川町地域福祉活動計画では、「地域づくり」を進めていく過程のなかで、一人ひとりが尊厳ある存在として重んじられ、孤立感を感じることなく地域社会の中で生きることが大切としています。

また、私たちが代弁者として様々な地域課題に直面している地域住民の「声なき声」を聴き、社会福祉領域のみならず、関連する領域の施策を把握し、どのような状況においても、差別や偏見を受けることなく誰もが当たり前で暮らせる「地域」を住民の皆さんとともに支えあいながら創りあげていく過程こそが、私たちが推進する「地域福祉」であると考えます。

本年度は、計画実施4年目となります。これまで育んできた地域の力を1つの大きな軸とし、昨年度までの活動評価を取り入れながら重点的に以下の活動を行い、「住民参加促進の新しいかたち」に向けて産学官民が共に歩みながらより一層、豊かな地域の実現を目指します。

なお、次期計画は令和7年度からになります。計画の見通しに当たっては、住民調査・計画の検討を行うことを踏まえ、本年度及び令和6年度の2年間をかけて検討して参ります。

《基本目標》

女川町社会福祉協議会では、「地域の支えあいとつながりで 一人ひとりの幸せが実現するまち おながわ」を基本理念に、以下の4つの基本目標を掲げ、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指していきます。

目標1 一人ひとりが自分らしく暮らせる地域

- 一人ひとりが、自分自身を大切にし、その人らしい自立した生活ができることを目指します。
主な重点項目：**住民の権利擁護の実現**

目標3 誰もが安心して暮らせる地域

- 一人ひとりが、住み慣れた地域において生涯にわたって、安心して自分らしい生き方ができる地域社会を目指します。
- 誰もが、必要に応じたサービスや資源につながりながら、ともに生きる地域社会を目指します。
主な重点項目：**災害時支援のための協働**

目標2 互いが支えあう地域

- 一人ひとりが孤立感を感じることなく、互いを尊重し、多様性を認めあえる地域を目指します。
- 自分の力を地域に活かすことで、一人ひとりが担い手となり、支えあえる地域を目指します。
主な重点項目：**ボランティア活動の活性化**

目標4 組織の基盤強化

- 多様な事業を展開するためには、健全な法人運営が基本であり、そのために必要な人材と財源の確保に努め、安定した運営基盤を築き、円滑な事業運営を目指します。
主な重点項目：**経営基盤の強化**

「令和5年度事業計画と

《一般会計予算のあらまし》

収入合計 114,530,000 円	支出合計 114,436,000 円
事務局 55,253,000円 * 会費や寄附金・補助金や助成金など	事務局 55,159,000円 * 法人運営やその他各種事業を実施していくための費用
地域包括支援センター 31,240,000円 * 町からの受託金・介護報酬など	地域包括支援センター 31,240,000円 * 地域包括支援センターを運営していくための費用
うみねこ園 21,950,000円 * 町からの障害福祉サービス等事業収入など	うみねこ園 21,950,000円 * うみねこ園を運営していくための費用
生活支援体制整備事業 6,087,000円 ※町からの受託金	生活支援体制整備事業 6,087,000円 ※生活支援体制整備事業を運営していくための費用



職員紹介

令和5年度も職員19名が力を合わせて
地域福祉の推進に努めて参ります。

事務局

事務局 長	伊藤 富士子	地域福祉係	
総務係		地域福祉係 長	千葉 信二
総務係 長	鈴木 康太郎	主事(総務係兼務)	久保 侑大
主任	須田 めぐみ	生活支援コーディネーター	住吉 いづみ
主事	酒井 陽菜	生活支援コーディネーター	小野寺 美紀子
事務補助員	今野 里美	生活福祉資金相談員	及川 浩敏

女川町地域包括支援センター		女川町地域活動支援センター うみねこ園	
管理者兼保健師	鈴木 佳子	施設長兼主任指導員	平塚 としえ
主任介護支援専門員	島田 圭子	指導員	遠藤 和剛
社会福祉士	隅田 和紀	指導員	木村 美雪
主任介護支援専門員	佐々木 千恵	指導員(日中一時支援事業担当)	浜野 恵
		指導員(日中一時支援事業担当)	尾形 妙子

4月から新たな職員が入職いたしましたので紹介します。



いとう ふじこ
 氏名：伊藤 富士子

所属：事務局

社協の活動は皆様のご理解と支えによって継続できています。
 これからもご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

また、いつでもお気軽に社協にお立ち寄りください。お待ちしております。

生活支援コーディネーターの 「いいものみ〜つけ！」 NO.25

健康づくりプロジェクト 話の花咲く大交流会開催！

令和5年3月30日、一般社団法人コミュニティスペースうみねこのコミュニティ支援で関わりを持っていた地域で行った、「歩け！健康づくりプロジェクト事業 ～笑顔と健康 歩いて行くよどこまでも!!～」の報告会を兼ねた大交流会を女川町まちなか交流館を会場に開催しました。

この事業は、コミュニティスペースうみねこと女川町社協の共同事業として、新型コロナウイルス感染拡大の影響による地域活動の減少や運動機能の低下などがみられる中、健康増進に取り組むことで健康への関心を高め、外へ出る機会を作ることを目的としてスタートしました。個々の健康づくりの目標として女川一周、東北一周マップを作成し毎月集計を行いながら健康増進に取り組んできました。

今回開催した、報告会及び大交流会では第一部として、それぞれの目標に対しての成果を称えるため、参加者一人ひとりへ表彰状の伝達も行いました。

一人ひとりへ表彰状の伝達を行いました



総合1位に輝いた阿部珠美さんは東北一周を完歩し総歩数はなんと!! 5,296,953歩！



プロジェクトに参加したご夫婦は21組もいらっしゃいました!!

当日は78名もの方々にご参加いただきました



さんまのたい焼き
早く食べたいな

今回、聖セシリア女子中学校・高等学校（神奈川県）、田園調布雙葉中学校・高等学校（東京都）からの支援で参加者全員にさんまのたい焼き無料券が贈られ交流会終了後はさんまのたい焼きを求めて三人行列ができました。

第二部では、数年ぶりに復活した宮ヶ崎チンドン隊や上三区の踊りで会場を盛り上げてくれました。コロナ禍が続き、なかなか披露することが出来なかったチンドン隊や踊り。会場で見ている人も、演じた人も沢山笑い有意義な時間になりました。また、帰り際には皆さんから、「楽しかった～来てよかった」などの声を頂くことができました。

今後は新型コロナウイルス感染症が5類へ引き下げられることもあり、地域での活動も活発になりそうですね。

チンドン隊が登場し笑いを誘いました



ポーズもばっちりきまっていますね

やっぱり最後は大漁唄いこみ!



～ 地域行事始動!! これからが楽しみです ～



コロナ感染症予防対策の観点からこれまで集いの場・お茶会等の自粛を余儀なくされていましたが、今年度から集いの場・お茶会等の予定を決め活動している地域が多くなりました!



4月 それぞれのお花見会を紹介



女川北区 コスモスクラブ(総合運動公園へ)



ゆっくり眺めながら
行くべし。
お宝あるかもよ。



桜満開の下でもやっぱり花より団子か

石浜区 お花見ツアー(登米市豊里方面へ)



「今回は、社協バス
を借りて外出
しました!!」



めずらしい品種や植物にくぎ付けの皆さん。
買い物ツアーの醍醐味ですね。



うみねこ園だより



うみねこ園に保健師さんがやってきた!

3月のある日、見たこともないマシンとともにうみねこ園に現れたのは保健センターの保健師さん…。

うみねこ園では機能低下予防の為、定期的にウォーキングを行っています。そのウォーキングを行う際のひとつの指標になればと、筋肉量や脂肪量を計測する為にお越しいただいたのでした。

やや緊張しながらも計測する機械の上に乗る利用者さん。その計測した結果をもとに、保健師さんの説明に聞き入る皆さんでした。

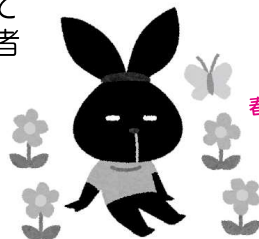
今後も定期的に計測していただきながら、機能低下予防に努めていきたいと思えます。



「女川町手をつなぐ親の会」の総会が4月26日に開催され、その際にお声掛けいただき「うみねこカフェ」と称し、コーヒーやお茶を出すことになりました。これまでも何度か経験はあったものの、ひさしぶりとあって前日の練習からはりきっていた利用者さんたちでしたが…当日はみなさん緊張気味!?それでも、練習通り注文をとる係とコーヒーやお茶を出す係に分かれ、無事に任務を完了!



ほっとした表情を浮かべていた利用者さんたちでした。



春はやっぱり桜よね

やっぱり「春」は、お花見

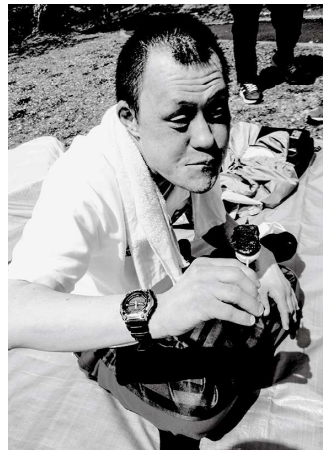
うみねこ園では、新型コロナウイルスの影響により、しばらくの間園外でのイベントを中止・縮小していましたが、今年度は様子を見ながら再開することに。

今回のお花見もその一つで、本格的に開催するのは実に4年ぶりとなりました。

社協のバスに乗って目指したのは、日和山。桜こそかなり散ってしまっていたものの、天気にも恵まれたなか、広げたシートの上で団子やお弁当を食べたり、同行していただいたボランティアさんと散歩をしたり、景色を楽しんだり…と、ひさしぶりのお花見を十二分に満喫してきました。

また、帰りには石巻南浜津波復興祈念公園に寄り、小高い丘を目指してウォーキング! 食べたり楽しんだりだけではなく、ばっちり体を動かした利用者さんたちでした。

やはり青空のもとでの活動は格別なようで、利用者さんのいきいきとした表情をたくさん見ることができました。様子を見ながらではありますが、今後もうみねこ園外での活動を行っていききたいと思えます。



女川町ボランティアセンターからのお知らせ

本会では、ボランティアセンターを開設し、ボランティア活動の支援や調整等を行っています。この、ボランティアセンターは、災害発生時には災害ボランティアセンターとして被災地の支援ニーズの把握・整理を行うとともに、支援活動を希望する個人や団体の受け入れ調整やマッチング活動を行っています。皆さんもご存知のように、災害を乗り越えていくとき、必ず「人と人とのつながり（共助）」がありません。もしもの時には、多くの方々のお力を結集し困難を乗り越えていきたいものです。今回は、その災害ボランティアセンターに関するお知らせです。

令和5年度 災害ボランティアセンター運営スタッフ体験研修のご案内

- 近年、全国的にどのような災害が発生し、どのような支援がおこなわれてきたのかを学ぶことにより、本町での『もしも』に備えて私たちが今準備できることを学んでみませんか？
- ・ 目的：災害が発生した際に、地域住民の生活の復旧を目的に設置される災害ボランティアセンターの役割や活用方法について学び、早期復旧・地域力の向上を目的とする。
 - ・ 日時：令和5年6月7日（水） 午後1時30分から午後3時
 - ・ 場所：女川町まちなか交流館 ホール（宮城県牡鹿郡女川町女川2丁目65-2）
 - ・ 対象者：（1）町内会長、民生委員・児童委員 （2）女川町社会福祉協議会 福祉活動推進員
（3）女川町社会福祉協議会 会員企業・団体（4）その他、市町村社会福祉協議会職員等
 - ・ 内容：『災害と災害支援～有事に備える日常生活～』
 - ・ 講師：ウェザーハート災害福祉事務所 代表 千川原 公彦 氏
 - ・ 定員：100名
 - ・ 参加費：無料
 - ・ 申込期日及び申込方法：令和5年6月1日正午までに下記まで申込ください。
【申込・問合せ先】女川町ボランティアセンター（女川町社会福祉協議会内）TEL：0225-53-4333 担当：千葉



～宮城県内で災害ボランティア活動をお考えの皆様へ～

みやぎボランティア総合センター 令和5年度災害ボランティア事前登録を始めます

令和4年7月に発生した豪雨災害では、大崎市及び松島町で災害ボランティアセンターが設置され多くのボランティアの方に活動していただきました。



これまでは、設置された災害ボランティアセンターのホームページ等にアクセスしていただき、ボランティア募集情報を入手していただいておりますが、令和5年度からは、**平時に登録し**、災害が発生した際に市町村災害ボランティアセンターから、**メールで活動の案内をお送りさせていただき**取り組みが開始となります。

是非事前にご協力いただき、災害発生時にはボランティアとして被災地での活動をよろしく願いいたします。



- ・ **募集期間**：令和5年4月1日から令和6年3月31日まで
- ・ **登録方法**：宮城県社会福祉協議会ホームページまたは左記QRコードからアクセスください。

【問合せ先】宮城県社会福祉協議会 震災復興・地域福祉部
地域福祉課 宮城ボランティア総合センター
TEL：022-266-3951 担当：生亀・武藤

皆様の善意に感謝申し上げます。

皆様から頂く寄附金は、広報紙の発行や小中学校で行う福祉学習、ボランティアセンター事業や生活困窮者への支援などに充当させていただいております。

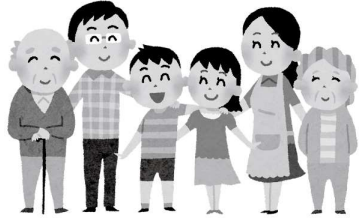
今後とも、皆様のご理解をよろしく願います。

寄附金〔3月1日～4月30日受付分〕

(敬称略)

行政区	氏名	金額
上三	佐藤佳樹	20,000円
長野県	南箕輪村社会福祉協議会	76,325円
三重県	四日市メリノール学院	26,079円

よりよい地域をつくるために



誰しものが、生活者として暮らす地域がこうあって欲しい！もっとこんな地域にしたい！という思いはあることでしょう。皆様が地域住民として、それぞれ役割を持ちながらよりよい地域をつくりあげていくために、皆様からいただく会費を活用させていただいています。

【4月1日～4月30日受付分】

特別会員

(敬称略)

行政区	氏名	行政区	氏名
浦宿二	土井賢亮	清水	的場登美子
〃	三宅哲也	竹浦	鈴木誠喜

賛助会員

(敬称略)

行政区	氏名	行政区	氏名	行政区	氏名
大沢	阿部美喜子	上二	阿部喜子	大原北	平山トキ子
浦宿一	勝又義郎	上三	杉山真弓	清水	平塚由彦
浦宿二	伊藤頼夫	西	木村和加子	〃	三浦ひとみ
〃	三宅仁子	小乗	阿部求	宮ヶ崎	遠藤孝子
浦宿三	青木すい子	横浦	木村登志子	〃	佐藤由理
針浜	木村哲夫	女川南	平塚京子	石浜	遠藤美恵子
旭が丘	鈴木義明	女川北	大壁よし子	尾浦	八巻英成
〃	鈴木やつ子	大原南	佐藤えい子	出島	阿部綱子
上ー	遠藤悦子	〃	高橋智子	江島	平塚恵美
上二	朝倉敬悦	大原北	木村廣靖		

運転ボランティア・付添いボランティア募集

移動支援 Rera (レラ) では、地域の助け合いによる送迎活動において、福祉車両などを使用し、移動支援を行っており、通常の**送迎運転ボランティア**と、月1回のお出かけイベント時の**付き添いボランティア**にご協力いただける方を募集しています。

- ・活動日時：祝日・日曜日以外の7：00～16：00まで。都合に合わせた頻度、時間での参加も可能です。付き添い送迎イベント(買い物などのお出かけ)は月1回実施。(実施日はお問合せ下さい)
- ・応募資格：要普通運転免許(付き添いボランティアの場合は免許不要)
- ・活動地域：石巻市、東松島市、女川町

【応募・問合せ先】NPO法人移動支援 Rera

石巻市大街道東4-2-10 クレビル1号館2階 TEL：0225-98-5667

